

摂食障害 治療支援センター

連絡先 022-717-7734 (外来), 7328 (コーディネーター)

ホームページ <http://plaza.umin.ac.jp/~edsupportmiyagi>

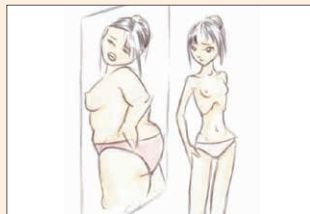


図1. 摂食障害のボディ・イメージの歪み

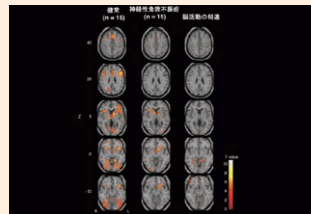


図2. 摂食障害の脳機能画像PLoS One, 2013. 引用。

特色

摂食障害の総合的な窓口として、医療連携、患者家族支援、普及啓発活動を3つの柱として活動しています。代表疾患が神経性やせ症と神経性過食症です。これらは極端な食事制限から慢性の飢餓状態もしくは過食となり、食行動が異常化する病態です(図1)。神経性やせ症の死亡率は6～20%で、極度の低栄養に起因します。脳の報酬系など神経回路に異常が生じる病態が解明されつつあります(図2)。

活動は、摂食障害治療支援センターとして院内に組織化され、宮城県摂食障害支援拠点病院の名称にて、国(厚生労働省)の事業かつ自治体の支援を受けています(心療内科のページ参照)。全国では、国立精神・神経医療研究センター、九州大、浜松医大、国府台病院に設置されています。

理想的診療体制は、大学病院が重症化した患者さんを引き受けるだけでは、整いません。地域医療での早期発見、早期治療、大学の診療、患者さんの居住地医療機関での継続診療が連携し、はじめてそれが可能になります。疑わしい患者さんを見たらぜひ発症早期にご相談下さい。



センター長
福土 審